

世利さんが体育指導員表彰

須恵区にお住まいの、世利昌信さん（41歳）が福岡県体育指導員感謝状を受賞されました。

これは、スポーツの振興に貢献し長年にわたってその功績が顕著な人に贈られるものです。

世利さんは、平成8年に須恵町体育指導員に就任以来、本町のスポーツ振興に尽力されています。専門はバレーボールで、町民バレーボール大会をはじめとする体育協会主催の企画・運営に携わられています。近年は、トレーニング方法やコンディショニングについて学ばれ、軽スポーツの普及にも精励されています。

12月9日（日）に柳川市で開催された、第43回福岡県体育指導員研修大会の席上で、感謝状が授与されました。



本町のスポーツ振興に貢献される世利さん

マレーシアからホームステイのお客様

かすや南ライオンズクラブ（若杉良富会長）が、マレーシアから留学生を迎えました。

来町したのは、ラセル・テイ・メイ・シエルさん（16歳）で、同クラブが取り組むYE（青年交換留学生）事業でホームステイしたものです。12月16日（日）に来日したラセルさんは、1月5日（土）までの滞在中、同クラブ会員の長澤儀久さん宅にホームステイしました。

12月18日（火）に、同クラブ会員と役場を訪れたラセルさんは「須恵町は森がたくさんあって人が親切でいいところです。滞在期間中、日本の食文化や生活様式を体験したいです」と話されていました。



福岡の歴史を学びたいと話すラセルさん（前列中央）

子どもたちにおえかきぶっくのプレゼント

旅石に工場を持つ、久野印刷株式会社（久野正人代表取締役社長）から、町内の幼稚園や保育所などに「おえかきぶっく」の寄贈がありました。

これは、同社が、地域の子どもたちに何か役に立つことをと行われたものです。今回の寄贈は、昨年に引き続くもので、今回は750冊が贈られました。

この寄贈のため、12月20日（木）に教育長を訪れた久野社長は「印刷物で町内の子どもたちが利用できるものと考えました。これで喜んでもらえれば幸いです。」と話されていました。



子どもたちの園生活で利用してくださいと話す久野社長（右）

学校生活の中で感じたことを発表

第2回 須恵町子ども文化発表会（須恵町教育委員会、須恵町立小・中学校主催）が、12月11日（火）にアザレアホール須恵で行われました。

この発表会は、2学期制の良さを活かした学校生活や表現力を高めることを目的に行われたもので、小学5・6年生と中学生の代表者が参加しました。

発表会は、合唱やリコーダーの音楽発表や学校生活の中で感じたことの発表などがありました。また、総合的な学習の時間の発表では、第2小学校4年生が「お年寄りとの交流で学んだこと」と題した発表がありました。

お年寄りとのふれあいの中で得た歌やゲーム、高齢者の身になって体験したこと感想などを発表して、来場者から大きな拍手が贈られました。



中学生の意見発表



高齢者の視界の狭さを体験



第三小学校児童のリコーダー演奏

分館主事がつきたてのもちを配布

須恵町分館主事の会（田原重美会長）が、12月16日（日）に大島原公民館でチャリティーもちつき大会を行いました。

これは、日ごろ一人で生活をしている高齢者に、少しでも温かいお正月を迎えてもらおうと、毎年行なっているものです。

この日のもちつきには、同会のOBや須恵町更生保護女性会などが応援に駆けつけて、約70kgのもち米がつかれました。そして、つきあがったおもちはその日のうちに、民生委員さんの協力を得て町内の高齢者宅に届けられました。



柔らかなおもちをと頑張るみなさん